

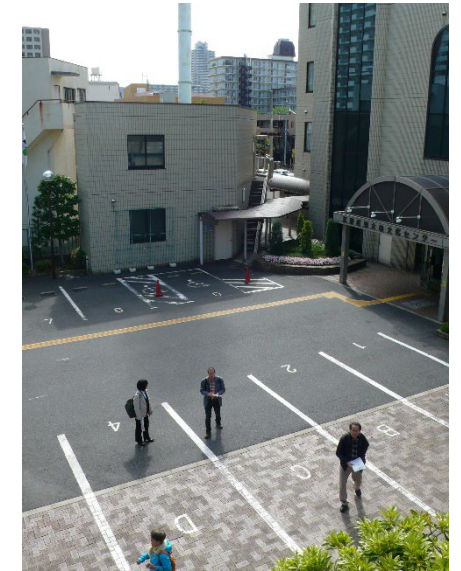
⑥ 中国人宿舎があったところ

大島 6 丁目から、南に下りて、大島 5 丁目と大島 8 丁目の角の辺りも、中国人宿舎が密集していたところである。このあたりの宿舎からも中国人労働者が引っ張り出されて大島 8 丁目の広場で虐殺された。



⑦ 大島町集団虐殺事件現場

現在の東大島文化センターのあたり。9 月 3 日、中国人労働者は、大島町各方面の宿舎から、20 人、30 人とここに連れて来られて、早朝、午後 1 時、午後 4 時を山場として日が暮れるまで、300 名乃至 400 名が虐殺された。10 月 16 日上海の新聞各社は「大島 8 丁目集団虐殺」の唯一の生存者黄子蓮の話として次のように報じた。



9 月 3 日昼、大勢の日本の軍警、青年団および浪人らが、大島 8 丁目の中国人宿舎へやってきて「金を持っているやつはみんな中国へ帰してやるからおれたちに付いて来い」と言った。私たちはそのことばを信じてついて行った。近くの空地へ来ると、突然「地震だ、伏せろ！」と言って全員地に伏せさせ、手にした棍棒、鳶口、つるはしなどの凶器で一気に殴り殺した。公認の殺し放題、殺された者は 200 人にもなろうか。私は殴られて気を失ったので、てっきり死んだと思われ捨ておかれた。……

仁木ふみ子「温州人被害場所一覧(512 名)」(岩波ブックレット)によれば、大島 8 丁目の死者は 334 名負傷者 5 名となっている。被災前住所は大島 8 丁目の周進順棧 19、林徳昌棧 7、呉元昌棧 1、黄應發棧 1、林合發棧 1、呉仁昌棧 1、林合吉棧 4、王日豊棧 1、林合昌 9、清溪屋 1 である。

虐殺に関係したと思われる部隊は、戒厳司令部詳報によると、野重第 1 連隊第 2 中隊岩波清貞少尉以下 69 名、騎兵 14 連隊三浦孝三少尉以下 11 名か。

黄子蓮証言以外にも、この事件に関する記録、証言はたくさんある。

(1) 警視庁広瀬外事課長直話「支那人及朝鮮人三百名乃至四百名三回に亘り銃殺又は撲殺せられたり」

(2) 外務省亜細亜局長「支那人王希天行衛不明ノ件」

「本所大島町附近に於て約三百名の支那労働者殺害せられたる事実」

(3) 支那人惨殺事件(陸軍省一密大日記 上海陸軍歩兵少佐小林角太郎作成)

「惨殺せられたるもの百七十余名…その大部分は温州附近のもの」

(4) 木戸四郎が新聞記者に説明した報告

「9 月 3 日正午より軍隊約七名が五名の鮮支人を現場に於て撲殺せるを手始めに続々二三丁目方面より支那人を参々伍々連行し撲殺し午後 6 時迄に約二百五拾名を軍隊、自警団警察にて惨殺せる」

(5) 関東戒厳軍司令部詳報第三卷「震災後警備のため兵器を使用せる事件調査表」

「群衆及警官四五十名約二百名の鮮人団を率い来たり…鮮人は全部殺害されたり」(本鮮人は支那労働者なりとの説あるも軍隊側は鮮人と確信殺害したるものなり)